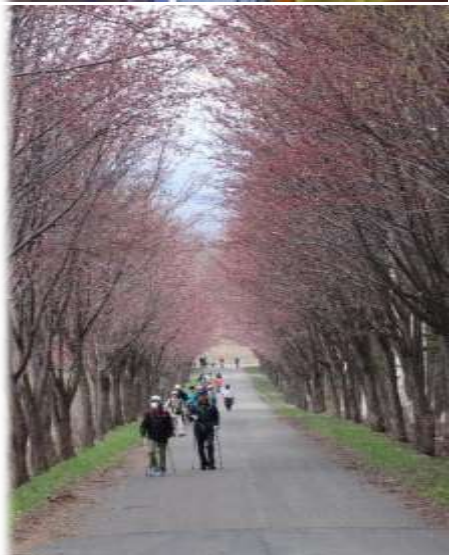




1% システム



はじめに・・・

弘前市では、平成 27 年 4 月に弘前市のまちづくりの基本的なルールを定めた「協働によるまちづくり基本条例」を施行し、市民等・議会・執行機関の 3 者の協働によって、「市民の幸せな暮らし」の実現に向けて取り組んでいます。

「市民参加型まちづくり 1%システム」は個人市民税の 1%相当額を財源に、市民自らが実践するまちづくり、地域づくり活動に係る経費の一部を支援する、公募型の補助金制度です。

町会や NPO、学生やボランティア団体をはじめとする市民活動団体などが、自らの地域を考え、自ら実践することにより、地域課題の解決や地域の活性化につながる活動を支援し、「市民力」による魅力あるまちづくりの推進を図ります。

この事例集では、平成 28 年度に採択された 59 事業を紹介しています。実施された事業は、ジャンルはさまざまですが、どの事業も市民のみなさまや地域のことを想って実施されています。

他の団体さんの情報収集として活用したり、実際に気になった事業があった場合は参加してみたり、自分たちの事業実施の参考にしていただければと思います。

今年度から、情報公開を承諾していただいた団体さんの情報や連絡先を公開しています。

「自分たちの事業の参考にしたい。」「事業に参加してみたい。」などがありましたら、市ホームページから連絡先をご確認ください。

URL : <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/seido/ichipercen/dantaijouhou.html>



☆も く じ☆

分野	事業名	団体名	ページ
地域コミュニティによる地域活性化	若葉町会納涼祭り	若葉町会	1
	弘前城の何でも歴史名人になろう。	南大町町会	1
	農園が変わる 集いの広場へ	北地区コミュニティ会議	2
	～和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業～ 題「けの汁発祥の地 和徳城」和徳城主 小山内讃岐の守没後 445 年祭	和徳歴史探偵団	2
	大仏公園紫陽花祭り	石川町会	3
	向外瀬町会 藩政時代へ旅する	向外瀬町会	3
	城南サマーフェスタ	城南町会	4
	第 2 回藤代地区夏祭り	特定非営利活動法人 藤代地区活性化協議会	4
	高屋衆の村まつり	高屋町会	5
	国際交流事業 (1) 国際交流夏祭り (2) 国際交流餅つきフェスティバル	桔梗野町会	5
	冊子「三大地区“地域の絆”改訂版作製事業	三大地区地域づくり 連絡協議会	6
地域防災・防犯・青少年健全育成	青少年健全育成・地域づくり・地域世代間交流事業 「第 3 回 津軽の伝統文化と昔の遊びに触れてみよう」	時敏地区青少年育成委員会	7
	大沢サマーフェスティバル	大沢サマーフェスティバル 実行委員会	7
	初めての避難訓練	栄町町会	8
地域課題解決	乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動	乳井町おこし協力会	9
	豊田小学校通学路排雪事業	豊田小学校父母と教師の会	9
福祉・保健	市民健康増進事業 「第 5 回 津軽若木スカイラインを歩いてみよう会」	弘前歩こう会	10
	第 4 回世界一の桜並木道を ノルディック・ウォーク	青森県 ノルディックウォーク連盟	10
	イキイキ健康クラブスマイル	イキイキ健康クラブ スマイル	11
	過疎地域スポーツ推進事業 「スポーツゲンキッズ教室」	特定非営利活動法人 スポネット弘前	11
	弘前市民の森で元気になろう	弘前市民の森の会	12
	子どもの健康づくり事業	美育・食育 はなか	12
	健康増進教室事業 “わ”と“な”の生き生きサークル	津軽保健生活協同組合	13

分野	事業名	団体名	ページ
福祉・保健	弘前暮らしの保健室	弘前暮らしの保健室	13
	ヘルシーエイジング	ヘルシーエイジング	14
	予防救急に関する告知活動及び、 出前講習会の実施	特定非営利活動法人 津軽広域救急支援機構	14
	第3回「住み慣れた地域で最期まで」を支えあう街づくり講演会 YES I Can～“やりたいこと”を“できること”に～	ひろさきナラティブ.net	15
	親子の触れ合い「親子じゃれつき遊び」と子どもの生活習慣・体力・ 社会性をはぐくむ「コーディネーションを取り入れた運動遊び」	子育て支援サークル ママーズクラブ	15
	岩木山 YOGA フェスティバル	岩木山 YOGA 実行委員会	16
	喫煙および受動喫煙の害のない弘前市を 実現するための活動	青森県タバコ問題懇談会 弘前支部	16
	大自然を感じよう！ 秋に炊事にチャレンジだ！！	5-Between	17
	第3回 弘前城リレーマラソン 冬の陣	特定非営利活動法人 スポネット弘前	17
環境	もったいない食育学習出前講座	特定非営利活動法人 もったいないつがるの会	18
	ラベンダーロード再生事業	相馬地区小・中学校 PTA 連絡協議会	18
	岩木山エコプロジェクト	岩木山観光協会	19
	冬季に春待つ土造りプロジェクト	特定非営利活動法人 もったいないつがるの会	19
ひとづくり	中心6 商店街 接客英会話 無料セミナー・ 観光英語ボランティア事業	弘前市英会話サークル Globish	20
文化・芸術的活動、伝統 芸能による地域活性化	弘前さくらコンサート Vol.2	Rainbow Muse Hirosaki	21
	第5回こぎんフェス	こぎんフェス実行委員会	21
	津軽カタリスト 太宰治ドラマリーディング 定期公演 事業	津軽カタリスト	22
	みんなで、「サウンド・オブ・ミュージック」 _(ミュージカル) を歌おう！	弘前ねむの会 ファミリーコーラス	22
	みんな大好き「岩木山」から津軽の文化を もっと知ろう！～おやまシンポジウム～	津軽笛地域づくり 実行委員会	23
	「ひろさき美術館～マレビトの祀り～」	弘前アートプロジェクト 実行委員会	23
	おしごと体験広場キッズハローワーク	おしごと体験広場キッズハ ローワーク実行委員会	24
	「グッド・Toy 2016 in ひろさき」の開催	青森グッド・Toy委員会	24
	石坂洋次郎没後 30年「甦る 戦後の 大ベストセラー作家 石坂洋次郎」	弘前ペンクラブ	25

分野	事業名	団体名	ページ
文化・芸術的活動、伝統 芸能による地域活性化	指定無形民俗文化財 鳥井野獅子踊保存活性事業	鳥井野獅子踊保存会	25
	ギネス記録も持つ！！津軽の笛が大集合！ 第4回 津軽笛博覧会	津軽笛地域づくり 実行委員会	26
	ワクワク・どきどき?! ひろレクパーク 「気軽に体験!楽しい時間・楽しく健康。 笑顔の自分を探しに行こう!」知力・体力・技ありの良いとこどり3大イベント	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会	26
	コミュニティシネマ事業「harappa 映画館」	NPO 法人 harappa	27
	小学校体育支援事業 ～運動大好きプロジェクト～	特定非営利活動法人 スポネット弘前	27
その他	弘前駅前遊歩道賑わい祭 HIROSAKI JAZZ STREET 2016	弘前駅前遊歩道賑わい祭 実行委員会	28
	映画上映会「うまれる」「ずっといっしょ」	SEEDS NETWORK	28
	自然を感じるキャンドルコンサート	「自然を感じるキャンドル コンサート」実行委員会	29
	桜祭りとの関連観光事業化を最終目的とした、街の文化的 観光素材・魅力の再発見・価値化を目指したイベント事業。	サクラチルアウト 実行委員会	29
	「第3回弘前城Q&R」開催事業	弘前城 Q&R 実行委員会	30
	「あのね、知ってる?ここにもフランス」 プロジェクト	弘前 グローバル・アクション	30
	テクノ DE 合コン	テクノ DE 合コン 運営委員会	31
	ウィンタースポーツ岩木山2017	岩木山観光協会	31

若葉町会納涼祭り

若葉町会

津軽ダム工事の際に引っ越してきた住民と、元からこの地域に住んでいる住民の交流を目的に行われるようになった納涼祭りを継続して開催しました。回覧板や幹線道路に設置したのぼりによって町会内での周知を図ったほか、他町会の納涼祭りに出向き、工夫している点を今回の納涼祭りに取り入れました。当日は大道芸やダンス、ビンゴゲーム、各種出店があり、1人暮らしのお年寄りを含めた地域住民が参加し、交流が深まることで普段の隣同士の会話が増え、祭り以外の町会行事にも協力してもらえさきっかけができました。

- 事業実施場所 若葉集会所及び駐車場
- 事業実施日 平成28年7月30日
- 参加者数 220人
- 補助金確定額 94,000円(事業費 344,754円)



子どもたちが楽しめる内容も盛りだくさんです



ご家族連れの姿も見られました

弘前城の何でも歴史名人になろう。

南大町町会

弘前の良さを、弘前のことを知らない人にもアピールできる郷土への誇りを育むため、町会の子もから大人までと一緒に弘前公園へ出かけ、町会民の世代間交流を図りながら、弘前城の歴史を学びました。ガイドの説明を聞きながら公園内を散策したことで、忍者が通ったとされる道や弘前城の石垣についてなど、一般的に知られていないような深い歴史を知ることができ、改めて弘前の良さを実感する機会となりました。

- 事業実施場所 弘前公園
- 事業実施日 平成28年10月1日
- 参加者数 19人
- 補助金確定額 51,000円(事業費 57,481円)



市民会館周辺にも深い歴史があります



公園内散策中♪

農園が変わる 集いの広場へ

北地区コミュニティ会議

地域住民の手で整備した交流農園を活用し、地域に住む子どもから高齢者までが野菜づくりを行いました。子どもたちには、地域の大人たちと一緒に野菜の生育から収穫までのさまざまな作業を体験してもらい、高齢者には農園の近くにある公園等で、季節折々の文化体験イベントに参加してもらうなどして、仲間とのコミュニケーションを図るきっかけをつくり、地域社会の連帯感を増進させることに寄与しました。

- 事業実施場所 北地区内 交流農園
- 事業実施期間 平成28年4月1日～12月24日
- 参加者数 679人
- 補助金確定額 347,000円(事業費 397,129円)



いもの植え付けから
収穫まで
みんなで楽しみました



収穫したいもで
焼き芋交流会♪



～和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業～ 題「けの汁発祥の地 和徳城」和徳城主 小山内讃岐の守没後 445 年祭

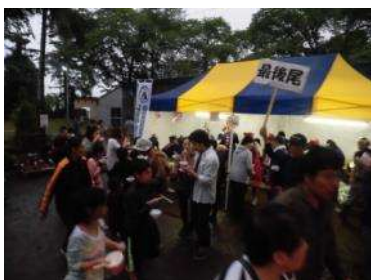
和徳歴史探偵団

和徳町の地域にあった和徳城と、その城主・小山内讃岐守が大浦為信によって落城された歴史や、「けの汁」のルーツが、落城前に兵士たちが食べたものとされていることから、和徳が「けの汁」の発祥の地とされています。これらを次代に伝え、和徳の活性化につなげるため、郷土料理でもある「けの汁」コンテストを開催するほか、和徳の歴史を掲載した歴史マップや、けの汁レシピを掲載したカレンダーを作成し、配付しました。

- 事業実施場所 宮川交流センター、和徳稻荷神社境内
- 事業実施期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 参加者数 1,500人
- 補助金確定額 500,000円(事業費 1,020,761円)



高校生が活躍した
コンテスト



小山内讃岐守没後 445 年祭では
けの汁のふるまいもありました



大仏公園紫陽花祭り

石川町会

町会内にある大仏公園と、公園内に咲く紫陽花を広く市民に知ってもらうため、「大仏公園紫陽花祭り」を開催しました。祭り開催期間中にチェックポイントクイズや、短歌・俳句コンテストを行い、応募作品は公園内に随時展示したほか、祭り終了後には、弘南鉄道の車両内に展示し、多くの人に見てもらいました。また、特別イベントとして紙ひこうき大会やジャズ演奏、紫陽花剪定勉強会を開催したことで、まつりが盛り上がり、徐々にまつりと公園の知名度が上がってきたことを実感できました。

- 事業実施場所 石川大仏公園
- 事業実施期間 平成 28 年 7 月 1 日～7 月 31 日
- 参加者数 5,569 人
- 補助金確定額 408,000 円(事業費 499,062 円)



毎年恒例、JAZZ の生演奏



色とりどりの紫陽花が公園内に咲き誇っていました

向外瀬町会 藩政時代へ旅する

向外瀬町会

町会行事への参加者が年々減少傾向にあることから、地域住民が同じ方向を向いて同じことに挑戦するため、町会内に保存されている古文書や古地図等を解明し、向外瀬村の開年を探る調査を行いました。昔の町会周辺を知る歴史講座や、向外瀬賛歌の募集・表彰を行ったほか、古文書の所蔵目録を作成することで、地域の成り立ちや歴史を知り、地域に対する愛着を高めることにつなげることができました。

- 事業実施場所 向外瀬集会所
- 事業実施期間 平成 28 年 4 月 10 日～平成 29 年 3 月 4 日
- 参加者数 251 人
- 補助金確定額 163,000 円(事業費 349,509 円)



町会に保管された古文書や古地図の調査



地域への愛着を高める歴史講座や賛歌の表彰を行いました

城南サマーフェスタ

城南町会

町民同士が友人を増やせる出会いの場を提供し、安全で住みよい町会にしていくため、サマーフェスタを開催しました。出店や、町会の内外から祭囃子や獅子踊りなどさまざまな催し物の出演者を招いたことで、高齢者施設の入居者や町民が来場したほか、子どもの参加を促すため、新たにピンゴゲームを行ったところ、大変好評でした。炎天下の中来場した人たちからは、伝統芸能を楽しむことができたとの声が聞かれ、住民同士の交流の場づくりへの理解が広まりました。

- 事業実施場所 山崎児童公園
- 事業実施日 平成 28 年 7 月 24 日
- 参加者数 248 人
- 補助金確定額 190,000 円(事業費 345,072 円)



さまざまな催し物で
来場者を楽しませました



←オリジナルチラシです

第2回藤代地区夏祭り

特定非営利活動法人 藤代地区活性化協議会

時代と急激な社会の変化により、藤代地区においても人口減少と高齢者社会の波が押し寄せてきていることから、地区のお年寄りから子どもまで、多くの住民が親睦を深めるため、夏祭りを開催しました。地区内のねぶたやしご車試乗会・煙ハウス体験などに多くの子ども達が参加したほか、よさこいや登山囃子などのステージには、たくさんの方が訪れ、家族の交流だけでなく、町会内の交流と親睦を深める機会となりました。

- 事業実施場所 藤代地区内
- 事業実施日 平成 28 年 8 月 27 日
- 参加者数 1,500 人
- 補助金確定額 500,000 円(事業費 1,328,673 円)



さまざまなステージを
楽しんでもらいました。



会場全体の様子。
広い敷地にたくさんの地域住民が
集まりました。

高屋衆の村まつり

高屋町会

核家族化が進み、町会内の横のつながりが希薄化する状況を打開し、地域をより活性化するために、過去10年間実施してきたまつりを継続して開催しました。町内の子どもたちが通う保育園、小学校による出演や、各伝統芸能、町内出身の歌手の出演があったほか、町会の有志による出店も並びました。町内の活性化や町内の人々の融和を図ることを目的に開催したまつりには、子どもからお年寄りまで幅広い年代の参加があり、また、催し物の演奏時に観覧者が踊り出すなど、プログラムを通して住民同士の融和が図られました。

- 事業実施場所 高屋愛宕神社
- 事業実施日 平成28年7月23日
- 参加者数 約600人
- 補助金確定額 270,000円(事業費 1,008,104円)



子どもたちによる催し物もありました



来場者、協力者ともに多数



国際交流事業 (1)国際交流夏祭り(2)国際交流餅つきフェスティバル

桔梗野町会

町会内にある弘前大学国際交流会館に住んでいる留学生や、弘前大学関係者と町会住民が交流を図るため、国際交流夏祭りと餅つきフェスティバルを開催しました。夏祭りでは、日本文化の盆踊りや、留学生のスピーチ、桔梗野小学校吹奏楽部による演奏などがあり、交流を深めることができ、餅つきフェスティバルでは、留学生の餅つき体験、留学生による合唱・民族舞踊といった、それぞれの文化を体験してもらうことで、お互いへの理解や、親睦を深めることができました。

- 事業実施場所 弘前大学国際交流会館、桔梗野会館
- 事業実施日 平成28年8月20日、12月17日
- 参加者数 420人
- 補助金確定額 127,000円(事業費 467,373円)



たくさんの地域の住民や留学生が参加した夏祭り



お互いの文化を知るきっかけになりました。

冊子「三大地区“地域の絆”」改訂版作製事業

三大地区地域づくり連絡協議会

危険箇所や子ども110番の家、避難場所や緊急連絡網、地域の史跡などをまとめた「地域の絆」（初版は平成24年度）に新たな情報を盛り込んだ改訂版を作製し、第三大成小学校の全児童や地域内の銀行、郵便局等に配付しました。改訂にあたり、校外児童会での通学路の危険箇所の確認や、10数回にわたる内容確認作業を行ったことで、地域の実情に合わせた冊子が完成し、地域住民には子ども達の健やかな成長を見守る大切さを再認識してもらうことができ、子どもたちには地域の大人が見守っているという実感を得てもらうことができました。

- 事業実施場所 三大小学校学区内
- 事業実施期間 平成28年10月1日～平成29年3月30日
- 参加者数 400人
- 補助金確定額 256,000円(事業費 294,114円)



地域内の危険箇所や掲載内容をみんなで話し合いました



第三大成小学校の
児童に贈呈しました

青少年健全育成・地域づくり・地域世代間交流事業 「第3回 津軽の伝統文化と昔の遊びに触れてみよう」

時敏地区青少年育成委員会

時敏地区の子どもたちに津軽に伝わる伝統芸能・伝統文化を目で見て体験してもらい、地域の高齢者と世代間交流を図りながら昔の遊びを体験してもらう場を創出しました。育成委員だけでなく、民生委員や町会長、PTA 関係者が一体となって開催したことで、今後の地域づくりの一助となりました。各地域に昔の遊びの行事開催を提案したところ、他地域の小学校や児童センターでも開催されたという報告や、当日の見学も多数あり、全市への広がりを感じることができました。

- 事業実施場所 時敏小学校
- 事業実施日 平成28年11月5日
- 参加者数 192人
- 補助金確定額 382,000円(事業費 435,250円)



ゴム鉄砲作り。懐かしいですね。



初めての体験です。
うまくなるかな…？

大沢サマーフェスティバル

大沢サマーフェスティバル実行委員会

地域住民の交流による地域活性化や防災意識の向上を目的として、自主防災訓練とサマーフェスティバルを同日開催しました。自主防災訓練では、炊き出しや土のう作り、救出訓練を行い、災害が起こった時にどのように動けばよいのかといった知識や技術の向上・共有を図ることができました。フェスティバルでは、各種出店のほか、大沢獅子舞の披露やゲストを招いてのメインイベントを開催したところ、町内の高齢者施設の入居者を含め、昨年以上に多くの町民の来場があり、地域交流の良い機会となりました。

- 事業実施場所 大沢町民会館
- 事業実施日 平成28年8月21日
- 参加者数 500人
- 補助金確定額 267,000円(事業費 297,777円)



催し物には地域の伝統
芸能も取り入れました



防災訓練中
炊き出し（左）と
救出訓練（上）です



初めての避難訓練

栄町町会

自主防災会を立ち上げ、避難訓練など災害時における役員の役割を確認したり、地域住民に対して、避難訓練の必要性を伝えるため、初めての避難訓練を実施しました。それぞれの担当者の役割を確認したほか、救出、消火、救命、炊き出し訓練を行いました。婦人部や老人クラブの積極的な協力もあり、町会の連帯感と団結力を十分に感じることができました。

- 事業実施場所 栄町町会会館及び緑地公園
- 事業実施日 平成 28 年 10 月 1 日
- 参加者数 36 人
- 補助金確定額 294,000 円(予定事業費 340,557 円)



救出活動の訓練の様子

消火活動や炊き出しも体験しました。

乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動

乳井町おこし協力会

乳井町会内で放棄され崩壊寸前だった遺跡である茶臼館の沿道改修や、ホタルが集まるため池の泥上げなどの整備を行いました。茶臼館の沿道舗装が進んだことにより、展望台に登る人が増えたほか、ため池が整備されたことにより、ホタルが飛び交い、子どもたちが感動する姿を見ることができました。また、里山・遺跡保存に対する意識が高まり、地域内にある様々な資源が地域の宝と認識されるようになりました。

- 事業実施場所 乳井町会内
- 事業実施期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 1 月 8 日
- 参加者数 146 人
- 補助金確定額 311,000 円(事業費 348,513 円)



乳井の歴史的な場所を結ぶ小道の舗装



沿道を改修しただけでなく、訪れた人がわかりやすいように案内板を作りました。



高所樹木の伐採も行いました

豊田小学校通学路排雪事業

豊田小学校父母と教師の会

行政の委託業者による除排雪が実施されるまでの間、通学路の安全を確保するため、PTA に排雪ボランティア、軽トラック・ローダー・ダンプ等を提供できる人を募り、除排雪作業を行いました。児童玄関前の歩道部分などに堆積した雪を排雪することにより、見通しを良くすることができ、子どもたちの通学時の安全を確保することができました。

- 事業実施場所 豊田小学校区
- 事業実施期間 平成 29 年 1 月 15 日～3 月 31 日
- 参加者数 14 人
- 補助金確定額 52,000 円(事業費 58,512 円)



高く積み上げられた雪の壁を崩して、道路の幅を広げました

市民健康増進事業「第5回 津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」

弘前歩こう会

参加者の健康増進と相互の親睦交流を目的として、津軽岩木スカイラインを一時的に歩行者専用として開放し、8合目までの5kmまたは10kmのコースを歩いて、ウォーキングや登山の素晴らしさを体感してもらいました。今年で5回目の開催となりますが、好天に恵まれ、ゴール後には大半の参加者が岩木山または鳥海山の山頂まで登りました。山頂からは津軽平野・日本海の景色を眺めることができ、日頃のストレスの解消と心身の健康増進に寄与することができました。

- 事業実施場所 津軽岩木スカイライン
- 事業実施日 平成28年9月4日
- 参加者数 195人
- 補助金確定額 480,000円(事業費 812,182円)



山頂まで登りました。ひと休み中♪



自分のペースで歩きます



第4回世界一の桜並木道をノルディック・ウォーク

青森県ノルディック・ウォーク連盟

認知症予防や生活習慣病などへの対策と短命県返上を目指すとともに、嶽地区の魅力を発信するため、オオヤマザクラが咲く5月に「世界一の桜並木」とその周辺をノルディック・ウォークしました。ポールを持参する参加者が増加傾向にあり、ノルディック・ウォークの定着を図ることで、市民の健康増進につなげることができました。また、市外、県外からの参加者も増えており、中には嶽地区に宿泊する人もいて、嶽地区の魅力を知ってもらう良い機会となりました。

- 事業実施場所 岩木青少年スポーツセンターを中心とした嶽地域一帯
- 事業実施日 平成28年5月1日～3日
- 参加者数 231人
- 補助金確定額 145,000円(事業費 269,430円)



スコップ三味線で歓迎



桜はつぼみでしたが、気持ちのいいウォークができました

イキイキ健康クラブスマイル

イキイキ健康クラブスマイル

毎週木曜日にスポーツ指導員による健康体操と、高齢者の悩みや生活に役立つ情報交換や昔語りを聴いたり歌を歌ったりする場を提供し、年間行事として、コンサートや弘前に関する教養講座を実施しました。定期的に体操することや文化的な活動を行うことで、心と体の両面からアプローチし、参加者には明るく健康で、生き生きとした生活を送ってもらうことができ、高齢になっても新しい出会いを喜び、楽しめる柔軟な心を保つことに寄与することができました。

- 事業実施場所 TSSビル研修室など
- 事業実施期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 参加者数 のべ1,075人
- 補助金確定額 320,000円(事業費 816,819円)



運動の後、昔語りを聴く時間や音楽とふれあう時間も。



みんなで体を動かします



過疎地域スポーツ推進事業「スポーツゲンキッズ教室」

特定非営利活動法人 スポネット弘前

少子化で部活動やスポーツ少年団もなく、運動をする環境がない地域の小学生のために、地域に出向いて定期的なスポーツ教室を開催しました。4か月を1クールで年間3校をまわり、近隣小学校や児童館への送迎を行い、さまざまなスポーツに触れる機会を作りました。週1回運動する習慣ができ、スポーツの楽しさを知ってもらえただけでなく、他学年とふれあう機会もあり、コミュニケーション能力向上のきっかけになりました。

- 事業実施場所 小友小学校、高杉小学校、裾野小学校
- 事業実施日 平成28年5月6日～平成29年3月7日
- 参加者数 のべ572人
- 補助金確定額 500,000円(事業費 987,444円)



いろんなスポーツを経験してもらいました



最後はみんなで後片付け



弘前市民の森で元気になろう

弘前市民の森の会

市民の心身の健康向上や不安解消に向けて、自然環境に恵まれた「市民の森」で、森林療法（市民の森の散策や川辺での抹茶体験）、園芸療法（自然農法の畑作業）、芸術療法（押し花作品作り、陶芸）などの体験を行い、参加者の心身の健康不安やストレス解消のきっかけを作りました。また、「ストレスと病気」をテーマとした健康セミナー・健康相談や、「ゲートキーパー」に関するセミナー、料理教室を開催し、心身の健康について知ってもらう機会を創出しました。

- 事業実施場所 弘前市民の森ほか
- 事業実施期間 平成28年4月1日～平成29年3月1日
- 参加者数 291人
- 補助金確定額 215,000円(事業費 347,205円)



季節の草花を楽しみながら散策しました。



鳥の声や虫の声も聞こえてきました。
五感を使いながら展望台に向かいます

子どもの健康づくり事業

美育・食育 はなか

子どもたちの「美の心」、「豊かな心」を育てる美育と、元気になる食事法を学びながら作って食べることを楽しむ食育を通して、心体ともに健やかな子どもたちが増えることに役立つプログラムを提供しました。植物園の散策や、美術セミナー、フラワーアレンジメントなどの美育では、リラックス効果が高いことから、子どもたちのストレスを軽減でき、食育ではご飯を中心とした日本型の食生活や、野菜を中心としたバランスの良い食事などを学び、現在の食生活や運動状況を見直してもらうきっかけを作ることができました。

- 事業実施場所 清水交流センター、宮川交流センターほか
- 事業実施期間 平成28年6月4日～平成29年3月22日
- 参加者数 460人
- 補助金確定額 68,000円(事業費 117,142円)



食生活を見直すきっかけに

リラックス効果が高い美育のプログラム

健康増進教室事業 “わ”と“な”の生き生きサークル

津軽保健生活協同組合

今後、後期高齢者や介護を受ける人が増加すると予想されることから、健康寿命を延ばすため、高齢者対象の健康増進教室を開催しました。参加者には、楽しみながらできる体操を提供し、健康講座では加齢による身体の変化と注意すべき点を学んでもらったほか、教室のない日にも健康への意識を保ってもらうため、活動量計・日記の記録をしてもらい、それを元にアドバイスをを行いました。教室を通して、参加者の活動量だけでなく、社会交流の場が広がるという効果もたらされました。

- 事業実施場所 津軽保健生活協同組合本部2階ホール
- 事業実施期間 平成28年7月9日～平成29年3月22日
- 参加者数 のべ450人
- 補助金確定額 94,000円(事業費 132,177円)



日々の生活を
記録してもらいました



楽しみながら、みんなで体を動かします

弘前暮らしの保健室

弘前暮らしの保健室

介護の仕方や病気になった時の対処方法、施設のことや薬の飲み方など、日々の生活の中で生じる悩み事に対応するため、誰でも気兼ねなく参加できる「暮らしの保健室」を定期的で開催しました。在宅医療に役立つミニ講座や介護食の実習、認知症を面白く理解するための公演を行ったほか、毎回の茶話会では、参加した人同士も気軽に相談し合う場面もありました。また、同じ施設を利用している子どもたちが健康維持のための運動や公演に参加することもあり、気軽に交流できる場として地域の中で定着しました。

- 事業実施場所 清水交流センター和室ほか
- 事業実施期間 平成27年7月1日～平成29年3月18日
- 参加者数 のべ295人
- 補助金確定額 129,000円(事業費 144,205円)



地域の人が気軽に
話をしたり、
悩み事を専門職の人に
相談したりしました



認知症についての寸劇や、嚥下食の調理実習の様子

ヘルシーエイジング

ヘルシーエイジング

高齢になると、若いときのように日常生活を送ることが困難になることに対して、高齢者自身が高齢者の目線で向き合うため、同じ課題意識を共有する仲間と共に、運動・健康講話・写経などの講座を行いました。ボールやチューブを使ったストレッチや筋力アップ運動をすることで、生活習慣病や骨格筋の衰退による転倒予防をするなど、参加者の現在の健康状態の維持や QOL 向上に貢献できただけでなく、目的意識をもった外出の機会を提供することができました。

- 事業実施場所 ヒロロ健康ホール
- 事業実施期間 平成 28 年 7 月 11 日～平成 29 年 3 月 27 日
- 参加者数 1,119 人
- 補助金確定額 216,000 円(事業費 321,259 円)



心を落ち着かせて
写経に取り組みます



椅子に座ってできる運動 ボールやチューブを使います



予防救急に関する告知活動及び、出前講習会の実施

特定非営利活動法人 津軽広域救急支援機構

高齢者による自宅での死亡やけがのリスクが高まっている傾向があることから、小さな事故やけがを防止する「予防救急」の考え方を広めるために、講習会などを開催しました。まだ医療従事者や救命士にも浸透していない考え方ではありましたが、指導者養成講習会では、一般の方に指導してもらえるような情報や技術を伝えることができ、さらに一般向けの講習会や老人クラブへの出前講習会を行ったことで、一般市民にも少しずつ「予防救急」への理解が生まれました。

- 事業実施場所 中央公民館岩木館 ほか
- 事業実施期間 平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- 参加者数 716 人
- 補助金確定額 500,000 円(事業費 618,638 円)



老人クラブでの出前講習会



各分野から見た「予防救急」についての講演と救命講習を行いました。

第3回「住み慣れた地域で最期まで」を支えあう街づくり講演会 YES I Can～“やりたいこと”を“できること”に～ ひろさきナラティブ.net

高齢になり、医療や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域でその人らしく暮らしていけるように、今年度は「介護・リハビリテーション」をテーマに講演会を開催しました。講演では、介護状態から卒業できるサービスの事例や、地域を支える「コミュニティづくり」と「ひとづくり」についての話があり、講演後には、家でもできる下肢筋力を鍛える体操の実演がありました。参加者からは、「現状や今後の家庭や地域に生かせる内容だった」という声が複数あり、「やりたいことをできることに」という意識を伝えることができました。

- 事業実施場所 市民文化交流館ホール
- 事業実施日 平成 28 年 9 月 18 日
- 参加者数 95 人
- 補助金確定額 140,000 円(事業費 156,393 円)



具体的な事例紹介もありました



みんなで、家庭でもできる体操を実施してみました

親子の触れ合い「親子じゃれつき遊び」と子どもの生活習慣・体力・ 社会性をはぐくむ「コーディネーションを取り入れた運動遊び」

子育て支援サークル ママーズクラブ

親子関係を育て、こどもの健康づくりや仲間作りになり、養育する親が幼児期についての学習をしたり、子育ての悩みなど情報交換をしたりする、子どもと親子の遊びの場を提供しました。親子でじゃれつき遊びをすることで、自宅でもいろいろな遊びを続けるようになった人が増えたことや、子どもの運動遊びを通して、運動習慣が身につき、成長した後の健康意識に影響があることを親にわかってもらう機会になりました。また、講師を招き、子育て中のママのケアについての講座も開催し、小さい子どもがいるママの運動の場を提供することができました。

- 事業実施場所 青森県武道館、弘前 B&G 海洋センター、宮川交流センター
- 事業実施期間 平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- 参加者数 459 人
- 補助金確定額 51,000 円(事業費 243,646 円)



ちいさな子どもがいるママに
気軽に運動を楽しんでもらいました



自宅でもできるような遊びを提供します

岩木山 YOGA フェスティバル

岩木山 YOGA 実行委員会

男性が参加しづらい、柔軟性が無いとできないと思われがちなヨガを気軽に体験してもらうため、壮大な自然を身近に感じられる岩木山でヨガフェスティバルを開催しました。東京から招いた講師によるヨガレッスンだけでなく、県内で活躍するインストラクターによるさまざまな種類のヨガやエアロビクス、ピラティスなどのレッスンも行ったところ、親子連れや男性の参加もありました。また、市内で活躍している人による出展や、会場である岩木山に関係するブースを設けたことで、地元の活動や食材に触れていただく良い機会となりました。

- 事業実施場所 岩木山桜林公園
- 事業実施日 平成 28 年 9 月 24 日
- 参加者数 300 人
- 補助金確定額 421,000 円(事業費 654,900 円)



お天気にも恵まれて、
絶好のヨガ日和でした



さまざまなブースの出展もありました

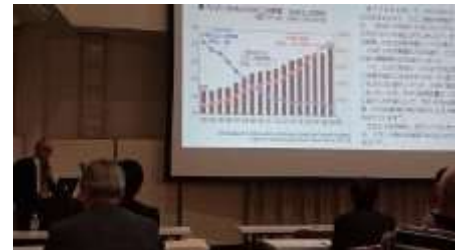


喫煙および受動喫煙の害のない弘前市を実現するための活動

青森県タバコ問題懇談会弘前支部

青森県は、喫煙率が男女ともに高く、短命県の原因の一つとなっていることから、公共的施設の受動喫煙対策の現状を調査し、その結果をシンポジウムやホームページなどで市民に広く発信しました。公共的施設でデジタル粉じん計を使い、PM2.5 を測定することで、建物内分煙では受動喫煙を完全に防止できないことが数値から証明でき、シンポジウムに参加した一般の方や飲食店経営者などに、喫煙による健康被害や施設内の完全禁煙の必要性について広く知ってもらう機会となりました。

- 事業実施場所 市内公共施設等、土手町コミュニティパーク
- 事業実施期間 平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- 参加者数 118 人
- 補助金確定額 183,000 円(事業費 220,795 円)



受動喫煙と喫煙による健康被害についての講演



調査の結果や、弘前市の指針についてなどの報告もありました

大自然を感じよう！秋に炊事にチャレンジだ！！

5-Between

障がいのある子どもを対象としたイベントが少ないことから、障がいがある子どもを対象とした炊事体験と外遊び体験を実施しました。普段「される側」が多い子どもたちに、保護者のためにカレーなどを作ってもらうことで、「する側」の立場を体験してもらいました。外遊びではどんぐりや木の枝など自然とふれあいながら遊ぶ楽しさを知ってもらうことができました。また、事業実施後のラジオ出演等で、障がいがあってもできることを活用していくことや、周りがフォローすることで様々なチャレンジができることを知ってもらうことができました。

- 事業実施場所 弥生いこいの広場
- 事業実施日 平成 28 年 10 月 23 日
- 参加者数 20 人
- 補助金確定額 6,000 円(事業費 11,844 円)



安全なナイフやピーラーを使って調理します



実際に外で調理をする前に、デモをおこないました。

第3回 弘前城リレーマラソン 冬の陣

特定非営利活動法人 スポネット弘前

平均寿命が低迷している要因の一つとして挙げられる「運動不足」を解消するため、楽しみながら気軽に運動できる場として、リレーマラソン冬の陣を開催しました。楽しんでもらうことを重視したコースを作り、普段あまり運動していない参加者に運動を楽しんでもらえたほか、冬にも走る機会があることでモチベーションの維持につながるとの声もあり、積雪や寒さなどが影響して運動不足になりがちである冬に、運動をするきっかけをつくることができました。

- 事業実施場所 弘前公園レクリエーション広場
- 事業実施日 平成 29 年 1 月 29 日
- 参加者数 401 人
- 補助金確定額 500,000 円(事業費 874,272 円)



45 チームが参加。小学生の参加もありました



走るだけではない“FUN RUN”コースも。



実業高校の学生さんが作ったタスキ

もったいない食育学習出前講座

特定非営利活動法人 もったいないつがるの会

保育園児を対象に、段ボールコンポストで生ごみを堆肥にしたり、廃食用油をローソクにしたりする体験を通して、地球温暖化について学ぶ出前講座を実施しました。食べ残しなどの生ごみが堆肥になり、その堆肥で花・野菜が育つことや食べ残しは良くないことだと知ってもらい、ごみを減らすことは、地球温暖化から地球を守ることに繋がると、園児や園児の家族に伝えることができました。

- 事業実施場所 市内5保育園 ほか
- 事業実施期間 平成28年4月1日～平成29年2月12日
- 参加者数 200人
- 補助金確定額 96,000円(事業費 135,656円)



地球を守るぞ！を合言葉に、ごみを減らすことが地球温暖化防止につながることを学びました。



野菜や果物の皮を細かく刻んでかき混ぜます

ラベンダーロード再生事業

相馬地区小・中学校 PTA 連絡協議会

相馬地区の景観の保全につなげるため、総延長 2.1km のラベンダーロードのうち、昨年整備できなかった約 1km に 500 株のラベンダーを植栽しました。昨年よりも保護者の参加が増えたほか、相馬地区の婦人会や老人クラブの皆さんの協力もあり、地域の意識の高まりを感じることができました。また、児童や生徒からは、「もっと花を植えたい」、「きれいに咲いてほしい」という声があり、子どもたちの心身の育成にも役立ちました。

- 事業実施場所 相馬地区内遊歩道（ラベンダーロード）
- 事業実施日 平成28年5月31日
- 参加者数 190人
- 補助金確定額 177,000円(事業費 199,292円)



地域の皆さんの協力もありました



一生懸命植えました
きれいなラベンダーが
咲きますように



岩木山エコプロジェクト

岩木山観光協会

美しい山であるはずの岩木山に捨てられている廃棄物を收拾するため、2回の美化活動を実施したほか、岩木山の写真展、エコフォーラム、岩木山麓で行われているイベントでの啓発活動など、ごみを捨てさせない意識改革に向けた活動を、力を入れて行いました。美化活動では、中には想像以上のごみの量があり、参加者も驚いてしまう場所もありましたが、一般道路脇のごみが減少傾向になるという成果がありました。

- 事業実施場所 岩木山麓周辺
- 事業実施日 平成28年7月1日～12月26日
- 参加者数 210人
- 補助金確定額 473,000円(事業費 526,352円)



ごみ捨て禁止の看板の奥にごみの山が…



次々とごみが見つかります



冬季に春待つ土造りプロジェクト

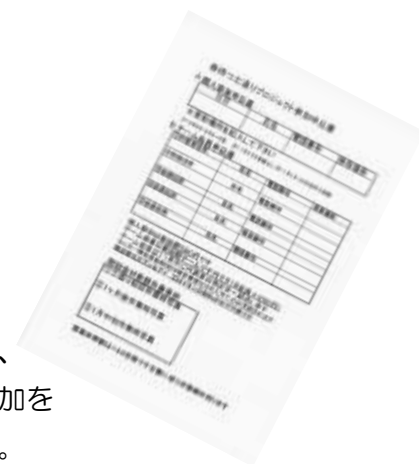
特定非営利活動法人 もったいないつがるの会

県内でもごみの排出量が多い弘前市のごみ減量・資源化をより進めていくために、冬季に室内でダンボールコンポストを使った生ごみ減量・土造りができることを、広く市民に紹介し、生ごみ堆肥化への参加者を募りました。定例の催事や岩木文化祭で参加を呼び掛けたことによって、保育園のママ友や老人会、趣味のサークルからのグループ参加があり、市内各地で生ごみ削減のための取り組みに一步踏み出してもらうことができました。

- 事業実施場所 イトーヨーカ堂、中央公民館岩木館
- 事業実施期間 平成28年10月1日～平成29年2月28日
- 参加者数 140人
- 補助金確定額 395,000円(事業費 479,273円)



個人だけでなく、グループでの参加を呼びかけました。



参加者のみなさんには、生ごみ堆肥化に取り組んでもらった様子を記録してもらいました。

中心6商店街 接客英会話 無料セミナー・観光英語ボランティア事業

弘前市英会話サークル Globish

「国際都市弘前」への一助とするため、市民と市内在住の外国人との国際交流や、外国人観光客へのおもてなしを目的として、観光英語ボランティアセミナーと接客英会話セミナーを実施しました。観光英語ボランティアセミナーを実施した後、実際に4大祭りでのボランティア活動を行い観光案内の手助けをすることができました。また、接客英会話セミナーでは、商店街の方に接客に必要な基本的な英会話を学んでもらうことで、外国人に対しておもてなしできる体制づくりの一助となりました。

- 事業実施場所 総合学習センター、参画センターほか
- 事業実施日 平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 参加者数 221人
- 補助金確定額 369,000円(事業費 410,148円)



“May I help you?” と書かれたピブスを着用して案内をします

4大祭りの前に、セミナーを開催

弘前さくらコンサート Vol.2

Rainbow Muse Hirosaki

弘前で一流の音楽家による質の高い音楽に触れる機会を作り、1人でも多くの来場者に音楽の楽しさを伝えるため、東京を中心に活躍しているプロのピアニストと弘前で音楽を学んでいる個人、団体によるコンサートを開催しました。ピアノソロ、連弾、2台ピアノ、吹奏楽、合唱など、演奏の内容を工夫したところ、昨年よりも多くの市民に足を運んでもらい、市民会館にある2台のスタインウェイの音や、音楽の素晴らしさを伝えることができました。

- 事業実施場所 弘前市民会館
- 事業実施日 平成28年5月7日
- 参加者数 354人
- 補助金確定額 500,000円(事業費 1,261,077円)



←プロとの連弾です



子どもたちの出演場面も
たくさんありました



第5回こぎんフェス

こぎんフェス実行委員会

津軽地方に古くから伝わる「こぎん刺し」文化を発信し、多くの人にこぎんへの愛着や誇りを持ってもらうため、「こぎんフェス」を開催しました。イベントではこぎん刺しや作家によるこぎんトークなどを行いました。本イベントでは、古作こぎんの実物展示やこぎん刺し作品の各種展示を行い、こぎん刺しについての理解を深めてもらうとともに、こぎんアイテム・グッズの販売やワークショップのスペースを設けたことで、生活やファッションとしてなど、こぎんの持つ多様性を広く知ってもらうことができました。

- 事業実施場所 市民文化交流館ホール ほか
- 事業実施日 平成28年4月28日～5月1日
- 参加者数 2,413人
- 補助金確定額 325,000円(事業費 437,266円)



歴史をたどるような展示も



古作こぎんはレースのような細かさ



こぎん刺しワークショップ
皆さん真剣です

津軽カタリスト 太宰治ドラマリーディング定期公演 事業

津軽カタリスト

太宰治まなびの家を会場にして、太宰治の短編小説をドラマリーディング形式にした公演会を季節ごとに実施しました。当初の予想を上回る合計 300 人以上の動員があり、ドラマリーディングという「声を主体とした演劇」の手法を用いることで、「弘前は太宰研究の街である」ことを PR することや、短編小説の、長編小説とはまた違った太宰の新しい魅力を再発見していただくことができました。

- 事業実施場所 太宰治まなびの家
- 事業実施期間 平成 28 年 4 月 1 日～12 月 10 日
- 参加者数 313 人
- 補助金確定額 421,000 円(事業費 467,834 円)



まなびの家は超満員。
太宰治の
短編小説の魅力が伝わります。

背景や音楽も使った朗読劇です。

みんなで、「サウンド・オブ・ミュージック」(ミュージカル)を歌おう！

弘前ねむの会ファミリーコーラス

小さいときから様々なものに触れることで、感性豊かな子どもに育ててほしいという思いから、手話・英語・ダンスを取り入れたミュージカル公演を行いました。出演する子どもたちには、講師や指導者を交えての約9か月間の練習を通して、手話やダンス、英語だけでなく、挨拶や礼儀作法、助け合いなども学んでもらいました。公演の鑑賞者には、英会話・ダンス・手話を交えたミュージカルの楽しさを知ってもらうことができ、文化芸術向上の一端を担うことができました。

- 事業実施場所 百石町展示館、桔梗野小学校音楽室
- 事業実施期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 1 月 10 日
- 参加者数 140 人
- 補助金確定額 415,000 円(事業費 490,448 円)



来場者も一緒に手話を体験

サウンド・オブ・ミュージックでミュージカルの楽しさを伝えました

みんな大好き「岩木山」から津軽の文化をもっと知ろう！～おやまシンポジウム～

津軽笛地域づくり実行委員会

お山参詣をはじめとする岩木山の行事が市民に広く知られていることから、「岩木山と自分」、「岩木山と先祖」、「岩木山と生活」を見直すきっかけを作るため、「おやまシンポジウム」を開催しました。岩木山を取り巻く文化を楽しんでもらう体験コーナーや津軽に住む人と岩木山の関わりについての講演、岩木山から世界へと広がりを見せた担ぎ太鼓の演奏、県内外の講師によるパネルディスカッションなどを通し、多くの市民に岩木山と岩木山の文化について改めて興味を持ってもらうことができました。

- 事業実施場所 市民文化交流館ホール
- 事業実施日 平成 28 年 6 月 19 日
- 参加者数 約 300 人
- 補助金確定額 367,000 円(事業費 408,604 円)



←思い思いに岩木山にまつわる句をよんでもらいました。



津軽の人にとっての岩木山とは？
お山参詣のことなどのお話がありました

「ひろさき美術館～マレビトの祀り～」

弘前アートプロジェクト実行委員会

市民や観光客に、仲町伝統的建造物群保存地区を広く知ってもらい、文化財への理解・関心を深めてもらうため、4軒の武家屋敷を会場に個展形式の展覧会を開催しました。会期中には、4名の出展作家によるアーティストトークを行い、それぞれの展示にかける想いや、建造物と現代美術の可能性について話がありました。観光客以外にも、多数の市内・県内在住者が訪れ、武家屋敷の魅力を体感できる良い機会となりました。

- 事業実施場所 仲町伝統的建造物群保存地区
- 事業実施期間 平成 28 年 7 月 30 日～8 月 12 日
- 参加者数 3,340 人
- 補助金確定額 500,000 円(事業費 594,635 円)



アーティストトークの様子



さまざまな作品が
展示されていました



おしごと体験広場キッズハローワーク

おしごと体験広場キッズハローワーク実行委員会

子どもたちに、大人になることや働くことが素晴らしいと思ってもらうため、誰もが知っているメジャーな仕事から、地域性の強い仕事まで、社会には様々な仕事があることを体験・体感できる「キッズハローワーク」を開催しました。参加した児童に対して、その仕事を生業にしているプロが対応することで、仕事をして対価を得、その対価を使う社会のしくみや、経済循環の仕組みを体感してもらうことができ、「人を育てる」土壌を創出することができました。

- 事業実施場所 弘前学院聖愛中学高等学校
- 事業実施日 平成28年10月16日
- 参加者数 2,000人
- 補助金確定額 475,000円(事業費 1,075,797円)



働いた対価を使って遊びました



体験できるおしごとが盛りだくさん

「グッド・Toy2016inひろさき」の開催

青森グッド・Toy委員会

子どもたちだけでなく、障がいを持った方を対象に、優良玩具（特に木製）や県産木製玩具などを展示し、実際に玩具で自由に遊ぶことができるスペースを提供しました。そのほか、木材を磨いて「ひばひよこ」を作るワークショップやおもちゃ病院によるおもちゃ修理を行い、健全で優良な玩具への理解を深めてもらうことができました。また、障がいのある子どもや大人にも参加してもらうことができ、健常者と一緒に遊んでもらうことで、バリアフリーの地域づくりに良い効果をもたらすことができました。

- 事業実施場所 ヒロイベントスペース、多世代交流室
- 事業実施日 平成28年11月5日・6日
- 参加者数 1,300人
- 補助金確定額 234,000円(事業費 268,098円)



人形劇も。みんな夢中で見えています



展示している玩具で遊んでもらいました



石坂洋次郎没後 30 年「甦る 戦後の大ベストセラー作家 石坂洋次郎」

弘前ペンクラブ

平成 28 年は、弘前が生んだ昭和の日本を代表する作家である石坂洋次郎の没後 30 年にあたることから、改めて石坂文学に陽をあてるため、石坂作品の映画「若い人」の上映と、弘前市出身の直木賞作家で評論家である長部日出雄氏の講演会を開催しました。

映画上映と講演会には昨年を上回る来場者があり、高校生や大学生の参加もあったことから、石坂洋次郎作品を再評価する機運が生まれ、若い世代に文学に対する関心を喚起することができました。

- 事業実施場所 弘前パークホテル
- 事業実施日 平成 28 年 10 月 2 日
- 参加者数 180 人
- 補助金確定額 387,000 円(事業費 488,664 円)



戦後を元気にした
石坂洋次郎作品について

指定無形民俗文化財 鳥井野獅子踊保存活性事業

鳥井野獅子踊保存会

近年、後継者が不足している獅子踊りを後世に継承していくために、獅子踊りの歴史やこれまでの歩み、踊り方、演奏方法などの情報をまとめた冊子を作成しました。また、講演やワークショップを行い、これからのあるべき姿やどのように継承していくのかを、地域住民や近隣の獅子踊り保存会のメンバーと考える機会を創出しました。冊子を発行したことにより、地域みなさんに獅子踊りという伝統文化や魅力について理解を深めてもらうことができ、一緒に作成した DVD は後継者にとって貴重な教材となりました。

- 事業実施場所 鳥井野多目的集会所ほか
- 事業実施期間 平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 3 月 21 日
- 参加者数 のべ 341 人
- 補助金確定額 500,000 円(事業費 747,570 円)



→ 完成した記念誌



獅子踊りの今後についての
ワークショップ



鳥井野保育園の園児たちが泉野のなかよし会
のみなさんに獅子踊りを披露しました

ギネス記録も持つ！！津軽の笛が大集合！第4回 津軽笛博覧会

津軽笛地域づくり実行委員会

弘前ねぶた囃子や登山囃子、青森ねぶた囃子などの津軽の笛や手摺り鉦のワークショップと、津軽の郷土芸能と津軽笛が共演するコンサートを行う「津軽笛博覧会」を開催しました。今年から、全国で唯一の生の笛コンテストである全日本横笛コンクールの翌日に開催することになり、市外・県外からの参加者が増加し、新たな交流が生まれました。また、津軽に伝わる伝統文化を深く掘り下げて学ぶことで、津軽笛を愛好する人物を育成し、ねぶた等での笛指導者のレベルアップを図ることができました。

- 事業実施場所 藤田記念庭園
- 事業実施日 平成28年9月18日
- 参加者数 800人
- 補助金確定額 414,000円(事業費 508,142円)



笛のワークショップのようす
指導者のレベルアップを図りました

←藤田記念庭園でのコンサート。前日のコンクール入賞者の演奏も聴くことができました。



ワクワク・どきどき?! ひろレクパーク「気軽に体験！楽しい時間・楽しく健康。笑顔の自分を探しに行こう！」知力・体力・技ありの良いとこどり3大イベント

特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会

健康増進を図ることを目的に、みんなで市内を歩きながらゲーム等にチャレンジする「ウォークラリー大会」、さまざまな分野を体験していただく「レッツひろレクデー」、少し支援の必要な子どもへの関わり方を学ぶ「レクリエーションてんこ盛り」の3つのイベントを開催しました。ウォークラリーでは、弘前の歴史を学んでもらいながら歩くことで、弘前の良さや自分の健康について気づきのきっかけになりました。ひろレクデーでは、年齢に応じた体力など知ってもらうことができ、心身の健康について気づく機会となりました。レクリエーションてんこ盛りでは、同じような悩みを持つ人同士の交流の場を創出することができました。

- 事業実施場所 弘前公園、弘前文化センター、総合学習センター
- 事業実施日 平成28年7月1日～平成29年3月6日
- 参加者数 122人
- 補助金確定額 111,000円(事業費 154,769円)



レクリエーションてんこ盛りと
ひろレクデーのようす



ウォークラリー大会では、
弘前のことが少し詳しくなりました

コミュニティシネマ事業「harappa 映画館」

NPO 法人 harappa

中心市街地を会場として、県内で上映されることが少ない“ミニシアター系”の映画や、新作のドキュメンタリー映画を上映しました。ドキュメンタリー映画の上演終了後には、メディアリテラシーを育む取組として、監督を招き、ドキュメンタリー映画の撮影の裏側や、映画製作についてのシネマトークを開催しました。市民が中心市街地で映画を見る場を提供でき、上映会を通して市民が地域の良さを再認識でき、心の豊かになる機会を創出することができました。

- 事業実施場所 弘前中三スペースアストロ
- 事業実施期間 平成 28 年 10 月 4 日～平成 29 年 3 月 31 日
- 参加者数 476 人
- 補助金確定額 331,000 円(事業費 727,236 円)



シネマトークのようす
撮影時の裏話も聴ける
貴重な時間です



ミニシアター系映画と新作ドキュメンタリーの
上映を楽しみにした市民が集まりました

小学校体育支援事業～運動大好きプロジェクト～

特定非営利活動法人 スポネット弘前

少子化によるスポーツ少年団の加入数の減少や部活の停滞によって、子どもたちのスポーツ実施率が低下していることから、学校の教員と専門の指導者が連携して体育の授業を行いました。各学校、あるいは各学年でどの競技を実施するかを決定し、指導案や進行表を作成して講師が体育の授業に出向きました。その競技が苦手な子どもに対しても手厚いサポートをすることができ、子どもたちがより体育に興味を持ち、今後のスポーツ活動にも良い影響を与えることができました。

- 事業実施場所 大成小学校、文京小学校、三大小学校
- 事業実施期間 平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 2 月 27 日
- 参加者数 のべ 3,622 人
- 補助金確定額 239,000 円(事業費 317,388 円)



苦手かな？と思う人には
サポートすることができました。



教員と専門の指導者が連携して取り組みました

弘前駅前遊歩道賑わい祭 HIROSAKI JAZZ STREET 2016

弘前駅前遊歩道賑わい祭実行委員会

弘前駅前公園及び遊歩道を市民がまち歩きするきっかけを作り出すため、市内外からジャズバンドを招聘し、ストリートライブとコンサートを開催しました。遊歩道沿いの飲食店や露店商が遊歩道沿いに店を出し、祭りを盛り上げたほか、自衛隊やJRの音楽隊を含め16のバンドを招聘することができました。雨の降る中、多くの市民が遊歩道を歩きながらjazzを楽しんでおり、駅前にもまち歩きが楽しめるエリアがあることを知ってもらえる良い機会となりました。

- 事業実施場所 弘前駅前公園及び周辺遊歩道
- 事業実施日 平成28年6月4日
- 参加者数 15,000人
- 補助金確定額 500,000円(事業費 1,050,451円)



夜も多数の観客で埋め尽くされていました



駅前にJAZZが響き渡る1日でした



映画上映会「うまれる」「ずっといっしょ」

SEEDS NETWORK

一人一人が尊い存在であることを認め合い、互いを大切に思いあうきっかけをつくるため、「うまれる」「ずっといっしょ」という2本の映画を上映しました。子連れの親も気兼ねなく鑑賞できるように、保育士さんによる託児スペースや、授乳スペースを作ったことが好評で、パパ・ママ・赤ちゃんの3人での参加も目立ちました。生老病死をテーマとした2本の映画の上映により、どの年代の人にも自分事として共感してもらうことができ、目の前の人を大切に思い合うことについて考えてもらうことができました。

- 事業実施場所 文化センター中会議室
- 事業実施日 平成28年6月26日
- 参加者数 57人
- 補助金確定額 166,000円(事業費 285,128円)



上映会の様子



保育士さんのボランティアをお願いして託児スペースを設けました。

自然を感じるキャンドルコンサート

「自然を感じるキャンドルコンサート」実行委員会

身近なものから作られたグラスハーブとスティールパンという2つの楽器の、自然音響の優しい音色の良さを知ってもらい、心を休めてもらうため、コンサートを開催しました。コンサートの中では、自然についての話や演出を行ったほか、弘前をイメージしたりんごや桜のキャンドルアートを楽しんでもらうことができました。来場者は、電気を使わずに窓から入る日の光やキャンドルの明かりと、2つの楽器の優しい音色で、ゆっくりとした時間を過ごすことができました。

- 事業実施場所 スペースデネガ
- 事業実施日 平成28年6月19日
- 参加者数 80人
- 補助金確定額 163,000円(事業費 181,571円)



グラスハーブ体験中
難しいです…



演奏と空間演出に釘付けです



桜祭りとの関連観光事業化を最終目的とした、 街の文化的観光素材・魅力の再発見・価値化を目指したイベント事業。 サクラチルアウト実行委員会

ゴールデンウィークに桜が散ってしまっているという観光客誘致の条件としてネガティブな状況を逆手に捉え、「桜が散る」というキーワードと「CHILL」をというコンセプトを融合させ、来場者が溶け込み馴染むヒーリング的空間を構成しました。イベント内では、音楽のほか、視覚芸術に携わるアーティスト、地元の魅力的なショップ・フード等のブースを設けたところ、音楽好きだけではなく、県内外・老若男女さまざまな人が集まり、さくらまつりと連動したイベントの形の“器づくり”をすることができました。

- 事業実施場所 土手町コミュニティパーク
- 事業実施日 平成28年4月30日
- 参加者数 300人
- 補助金確定額 425,000円(事業費 495,698円)



アートや、DJによる演出で
来場者を魅了しました



幻想的な空間でゆったりと過ごしました



「第3回弘前城 Q&R」開催事業

弘前城 Q&R 実行委員会

若者の健康増進や、ボランティアとしての社会参加のきっかけづくりのため、本丸を含む弘前公園で、鬼から逃げながらクイズやミッションをクリアしていく「弘前城 Q&R (クイズアンドラン)」を開催しました。弘前や弘前城に関係のあるクイズやミッションを出すことで、弘前の魅力を再発見してもらい、弘前への興味・関心の向上につなげることができました。今回から小学生版を開催することで、小学生にも弘前について考えてもらう機会が生まれ、また、運動が好きになってもらうきっかけとなりました。

- 事業実施場所 弘前公園
- 事業実施日 平成28年9月25日
- 参加者数 150人
- 補助金確定額 375,000円(事業費 561,230円)



クイズやミッションをクリアしてポイントを獲得していきます

「あのね、知ってる？ここにもフランス」プロジェクト

弘前グローバル・アクション

蓬萊広場でフランス風マルシェを開催し、市内のフランス菓子店やパン屋さんなどの協力のもと、フランス語の文化やことばを体験できるワークショップ等を行いました。子どもたちにはフランス発祥のキャラクターなどを知ってもらい、大人にはフランス語でメッセージカードを書いてもらうなど、幅広い年齢層にフランス文化に触れてもらうことができました。また、市内でフランスとの関わりがあるお店などを紹介するリーフレットを作製したことで、身近にあるフランス文化や、弘前の魅力を再発見してもらうきっかけをつくることができました。

- 事業実施場所 蓬萊広場、弘前大学
- 事業実施期間 平成28年4月15日～11月11日
- 参加者数 600人
- 補助金確定額 343,000円(事業費 400,646円)



お店に売っているものをフランス語で表記



フランスの文化やことばに触れてもらう場を創出しました

テクノ DE 合コン

テクノ DE 合コン運営委員会

弘前や弘前に関わりのある人やグループがつながり、交流を図る場となる音楽イベントを開催しました。「テクノイベント」の要素を合わせ、会場の壁面に音楽に合わせた映像を映し出した、非日常的な空間の中で、来場者には普段の生活と切り離れた意識を持ってもらい、知らない人とも話してもらいやすい雰囲気 연출しました。また、テクノという音楽に関心を持ってもらうきっかけを作ることができました。

- 事業実施場所 弘前中三スペースアストロ
- 事業実施日 平成 28 年 11 月 19 日
- 参加者数 120 人
- 補助金確定額 481,000 円(事業費 544,908 円)



飲食を提供しながら
交流する場をつくりました



テクノ音楽に合わせて
映像が変化し、
非日常的な雰囲気に。

ウィンタースポーツ岩木山2017

岩木山観光協会

「健康と観光」を活動目標とし、冬の岩木山で楽しめるウィンタースポーツのイベントを開催し、チューブそりやジムニートライアル、スノーモービルといった家族連れ向けの体験のほか、エアボードなどの新しい種目の紹介や、マンツーマン方式での指導を含む体験ができる場を設けました。ウィンタースポーツに特化したイベントを行ったことにより、本格的にウィンタースポーツに取り組みたいという参加者もあり、冬の岩木山の楽しみ方を体験してもらうことができました。

- 事業実施場所 岩木青少年スポーツセンター
- 事業実施日 平成 29 年 2 月 18 日・19 日
- 参加者数 1,200 人
- 補助金確定額 500,000 円(事業費 572,164 円)



←新しい種目の
エアボード

体重移動で上手に
コース取り！



スノーウォーク、チューブそり、ジムニートライアルの体験をしてもらいました。

弘前市市民文化スポーツ部市民協働政策課
電話：0172-40-7108（直通）
FAX：0172-35-7956（代表）
E-mail：shiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp